



22nd Digicon 6 ASIA

Asia's SUPREME SHORT MOVIE CONTEST

応募締切

2020年7月31日(金)

Youth部門 8月31日(月)

授賞式

ASIA 11月28日(土)

JAPAN 10月24日(土)

Illustration NORAKA Akifumi
Design Ealin

主催 **TBS** 後援 総務省 外務省 東京都

ALL ASIA パートナー  三菱地所  日テレ  Inter BEE   wacom  MONICA MINOLTA  協賛 Ray  BS-TBS



WELCOME to 22nd DigiCon6 ASIA



世界の誰もが不安を抱きながら日々を過ごしている。見えない敵に自由を奪われ、未知のウィルスに怯える。これまで体験したことのない非日常のなか、いつもと変わらず季節は巡る。いや、これまで体験したことがないというのは間違いで、厄災は太古の時代から人類を悩ませてきたはずだ。千年前の人たちも、今の私たちと同じように自然の脅威に、伝染病の恐怖に、戸惑い苦しみ憤ってきたのだと思うと少し希望を持てる。そうやって世界は続いてきたのだし、きっとこれからも続いていくのだから。

Even if I knew that tomorrow the world would go to pieces,
I would still plant my apple tree.

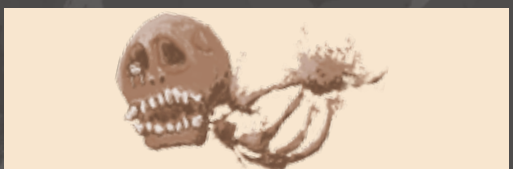
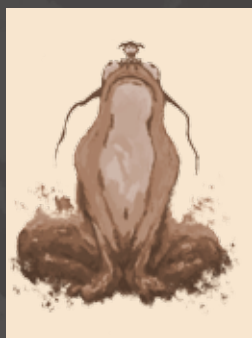
たとえ明日世界が滅亡しようとも、今日私はリンゴの木を植える。

マルティン・ルター



今から500年以上前のドイツの神学者の言葉である。当時ヨーロッパではペストが猛威を振るっていたという。グローバル化の現代、感染拡大の恐怖は世界を多様性と反対の方向に閉ざしていく。社会の危機と個人の弱さ、それは今も昔も変わらない。見えない先の不安に耐えながら未来を信じて世界を構築する、それが「創る」という作業、リンゴの木を植えるということなのかもしれない。改めて21st グランプリ作品「Another World」を見直した。不意に涙が溢れた。作品は、見る人の置かれた状況で印象ががらりと変わることがある。作者が込めた思いはそのままに、描かれた情景が、物語が、取り巻く空気の変化とともに新しい意味を獲得することもある。作品は見た人のなかで生まれ変わり、生き続ける。皆さんの作品に逢えるのを楽しみにしています。

DigiCon6 ASIA フェスティバルディレクター 山田亜樹



- 募集作品 15分以内の映像作品。実写映像、アニメーションなど。
- 応募資格 応募者がアジア出身あるいはアジア在住、または、アジアにおいて制作された作品。JAPAN Youth 部門は18歳以下を対象。
- 応募方法 オフィシャルサイトからエントリーしてください。作品の提出は郵送あるいは動画共有サイトを利用できます。出品料は無料です。
- 募集締切 2020年7月31日(金) / Youth 部門 8月31日(月)
- 発表・表彰 JAPAN Awards 2020年10月24日(土) 東京都写真美術館 ホール
ASIA Awards 2020年11月28日(土) 東京・丸ビルホール
- 各賞 JAPAN Gold : 20万円 JAPAN Youth Gold ほかに賞金、副賞あり
ASIA グランプリ : 50万円 ASIA Gold : 30万円 ほかに賞金、副賞あり
※賞金、副賞についてはオフィシャルサイトで随時発表。
- 参加地域 カンボジア、中国、香港、インド、インドネシア、日本、ラオス、マレーシア、韓国、シンガポール、スリランカ、台湾、タイ、ウズベキスタン、ベトナム

※実施内容は変更になる場合があります。

問合せ窓口 DigiCon6 ASIA 事務局

〒107-8006 東京都港区赤坂 5-3-6 TEL : 03-3505-0661

受付時間 : 10:00-18:00 E-mail : info2020@digicon6.com

www.digicon6.com